

確認申請書 第二号様式(第四面)建築物別概要

[8.換気設備の種類]の欄に関して添える別紙

(居室毎の機械換気設備)

階	室名	床面積 m ²	平均天井高 m	気積 m ³	換気種別	給気機による 給気量(A) m ³ /h	排気機による 排気量(B) m ³ /h	換気回数 n
合計								

(天井裏等への措置)

室名	
天井裏等	

(注)独立した複数のエリア毎に換気計画を計画する場合、それぞれのエリア毎に分けて気積、換気種別、給気量、排気量、天井裏等の措置、換気回数を記入し、全エリアについて明示する必要がある。

記入例

確認申請書 第二号様式(第四面)建築物別概要

【8.換気設備の種類】の欄に関して添える別紙

(居室毎の機械換気設備)

階数	室名	床面積 m ²	平均天井高 m	気積 m ³	換気種別	給気機による 給気量(A) m ³ /h	排気機による 排気量(B) m ³ /h	換気回数 n
1F	居間	24.30	2.50	60.75	給気機及 び排気機	40.00		
1F	台所	8.28	2.50	20.70		20.00		
1F	和室	17.40	2.50	43.50		30.00		
1F	廊下	19.87	2.67	53.05			80.00	
2F	洋室1	10.00	2.40	24.00		20.00		
2F	洋室2	10.00	2.40	24.00		20.00		
2F	主寝室	14.91	2.40	35.78		30.00		
2F	廊下	14.90	2.40	35.76			70.00	
合計				297.55		160.00	150.00	0.53

(天井裏等への措置)

室名	1F居間	1F台所	1F和室	1F廊下	2F洋室1	2F洋室2	2F主寝室	2F廊下
天井裏等								
2F小屋裏	気密層							
1F天井裏 (2F床下)	給気機による給気量(A) > 排気機による排気量(B)により、1F天井裏(2F床裏)は居室より負圧に措置済							
1F床裏	気密層							
外壁	気密層							
...	...							
間仕切壁1	通気止		通気止					
間仕切壁2	通気止	通気止						
...
収納			第3種 材料使用		第3種 材料使用	第3種 材料使用		
...

(注)上書式は、1階及び2階の各室に給気機を設け、1階及び2階の廊下に排気機を設けて、建築物全体の換気計画を一体的に計画した場合の記入例である。また、2F小屋裏、1F床裏及び外壁と居室等との間には気密層を設け、間仕切壁には通気層を設けて居室等と区画することを想定している。独立した複数のエリア毎に換気計画を計画する場合には、それぞれのエリア毎に分けて気積、換気種別、給気量、排気量、天井裏等の措置、換気回数を記入し、全エリアについて明示する必要がある。

使用建築材料表

- ・住宅等の居室
- ・住宅等の居室以外の居室

・第 _____ 種換気設備
 ・換気回数 _____ (回/h)

表1

記号	建築材料	種別	記号	建築材料	種別
a			i		
b			j		
c			k		
d			l		
e			m		
f			n		
g			o		
h			p		

表2

階	部屋名 (m ²)	内装仕上げ	種別	記号	幅(長さ) (m)	高さ (m)	面積 (m ²)	係数	使用面積 (m ²)	使用面積合計 (判定結果)
	(m ²)						0		0	0 m ² (OK)
	(m ²)						0		0	
	(m ²)						0		0	
	(m ²)						0		0	
	(m ²)						0		0	
	(m ²)						0		0	
	(m ²)						0		0	
	(m ²)						0		0	
合計		0					0		0	

- 1.仕上り材料が透過性のある建材(壁紙、カーペット等)の場合、直下の下地材までの材料のうちで発散等級が最も下位の材料の等級を種別欄へ記入してください。
- 2.換気の区画(ゾーニング)毎に各室床面積の合計値を記入し、判定してください。
- 3.(内装仕上げにおいて、1.を考慮したうえで

設計者資格

設計者氏名

記入例

使用建築材料表

- 住宅等の居室
- 住宅等の居室以外の居室

居室の種類(住宅、その他)に をして、換気種別及び換気回数を明記し、異なるごとに使用建築面積材料表を作成する

別紙1

第 3 種換気設備
換気回数 0.5 (回/h)

表1

記号	建築材料	種別	記号	建築材料	種別
a	複合フローリング	F	k	据置収納	F
b	構造用合板	F	l	天井材(天然木化粧合板)	F
c	普通合板	F	m	ふすま	F
d	木製階段	F	n	押入棚板	F
e	じゅうら(塗り)	F	o	床の間	F
f	開戸	F	p	キッチン	F
g	引戸	F	q	洗面化粧台	F
h	玄関収納	F	r	玄関収納	F
i	引違建具	F	s	壁紙施工用でんぶん系接着剤	F
j	収納扉	F	t	ビニルクロス	F

建築材料の種類を表1の記号に基づいて記入する。

居室の種類、換気回数、使用材料の等級によって異なる(別紙注意事項の表を参照)

表2

階	部屋名	内装仕上げの部分	種別	記号	幅(長さ)(m)	高さ(m)	面積(m ²)	係数	使用面積(m ²)	使用面積合計(判定結果)
1階	和室 (11.59m ²)	床	(規制対象外)						0	96.8795 m ² (OK)
		壁	F	e					0	
		天井	F	l			11.59	0.5	5.795	
		引戸	F	g	0.91	2.1	1.911	0.5	0.9555	
		引違建具	F	i	1.82	2.1	3.822	0.5	1.911	
		床の間	F	o			1.66	0.5	0.83	
	LD (16.56m ²)	フローリング	F	a			16.56	0.5	8.28	
		壁	(規制対象外)	s, t					0	
		天井	(規制対象外)	s, t					0	
		開戸	F	f	0.91	2.1	1.911	0.5	0.9555	
		引違建具	F	i	1.82	2.1	3.822	0.5	1.911	
	K (9.94m ²)	フローリング	F	a			9.94	0.5	4.97	
		壁	F	s, t					0	
		天井	F	s, t					0	
		キッチン	F	p	2.73	2.1	5.733	0.5	2.8665	
	廊下・ホール (10.77m ²)	開戸	F	f	1.82	2.1	3.822	0.5	1.911	
		フローリング	F	a			10.77	0.5	5.385	
		壁	F	s, t					0	
天井		F	s, t					0		
階段 (4.14m ²)	開戸・引戸	F	f, g	6.37	2.1	13.377	0.5	6.6885		
	玄関収納	F	h	2.73	2.4	6.552	0.5	3.276		
	壁	F	s, t					0		
	天井	F	s, t					0		
浴室 (3.30m ²)	踏み板	F	d			4.14	0.5	2.07		
	蹴込	F	d	0.91	2.9	2.639	0.5	1.3195		
	ユニットバス							0		
洗面所 (3.30m ²)	床	(規制対象外)						0		
	壁	(規制対象外)	s, t					0		
	天井	(規制対象外)	s, t					0		
	開戸	F	f	1.82	2.1	3.822	0.5	1.911		
トイレ (1.82m ²)	洗面化粧台	F	q	1.82	2.3	4.186	0.5	2.093		
	床	(規制対象外)						0		
	壁	F	s, t					0		
2階	主寝室 (16.56m ²)	天井	F	s, t					0	
		開戸	F	f	0.91	2.1	1.911	0.5	0.9555	
		据置収納	F	k	3.64	2.4	8.736	0.5	4.368	
		フローリング	F	a			9.94	0.5	4.97	
		壁	F	s, t					0	
		天井	F	s, t					0	
	子供部屋1 (9.94m ²)	開戸	F	f	0.91	2.1	1.911	0.5	0.9555	
		据置収納	F	k	2.73	2.4	6.552	0.5	3.276	
		フローリング	F	a			13.25	0.5	6.625	
		壁	F	s, t					0	
	子供部屋2 (13.25m ²)	天井	(規制対象外)	s, t					0	
		開戸	(規制対象外)	f	0.91	2.1	1.911	0.5	0.9555	
		据置収納	F	k	2.73	2.4	6.552	0.5	3.276	
		フローリング	F	a			6.62	0.5	3.31	
	廊下 (6.62m ²)	壁	F	s, t					0	
		天井	F	s, t					0	
		開戸	F	f	3.64	2.1	7.644	0.5	3.822	
		収納扉	F	i	0.91	2.3	2.093	0.5	1.0465	
トイレ (1.60m ²)	床	(規制対象外)						0		
	壁	F	s, t					0		
	天井	F	s, t					0		
開戸	F	f	0.91	2.1	1.911	0.5	0.9555			
合計、109.39m ²										

換気計画ごとに判定する使用面積合計(M)

M A

1. 仕上げ材料が透過性のある建材(壁紙、カーペット等)の場合、直下の下地材までの材料のうちで発散等級が最も下位の材料の等級を種別欄へ記入してください。
2. 換気の区画(ゾーニング)毎に各室床面積の合計値を記入し、判定してください。

一体の換気計画における床面積の合計 (A)

設計者資格 級建築士 登録第 号

設計者氏名

使用建築材料表(運協標準様式)作成にあたっての注意事項

この表は換気計画上一体となっている部分ごとに作成してください。

居室の種類に をしてください。

換気種別(第～種換気)、換気回数を記入してください。

表1に使用する建築材料仕上げ等のリストを作成してください。

表1、2の種別欄にはF ～ (又は第2種、第3種及び規制対象外)を入力してください。

表2に階数、部屋の種類及びその室の床面積をそれぞれ記入してください。

それぞれの部屋の仕上げ部分を記入し、表1に対応した材料種別、記号を記入してください。

使用材料ごとの面積及び内訳(記入例程度)を記入してください。

係数(N2、N3)は、居室の種類、換気回数、使用材料の種別により下表より選択の上、記入してください。

居室の種類	換気回数	N2(第2種)	N3(第3種)
住宅等の居室	0.7回/h以上	1.2	0.2
	0.5回/h以上0.7回/h未満	2.8	0.5
住宅等の居室 以外の居室	0.7回/h以上	0.88	0.15
	0.5回/h以上0.7回/h未満	1.4	0.25
	0.3回/h以上0.5回/h未満	3	0.5

¹ 住宅等の居室とは、住宅の居室、下宿の宿泊室、寄宿舍の寝室、家具その他これに類する物品の販売業を営む店舗の売り場をいう。

² 換気について、表に示す換気回数の機械換気設備を設けた場合と同等以上の換気が確保されるものとして国土交通大臣が定めた構造方法を用いるもの又は国土交通大臣の認定を受けたものを含む。

換気計画ごとに、その使用面積の合計(M)が、その床面積の合計以内(M ≤ A)であることを確認してください。
設計者資格、設計者名を記入してください。